

平成26年度 事業報告書

コース	自主事業コース ・ 協働市民提案コース ・ 協働行政提案コース		
事業の名称	障がい児子育てハンドブック作成事業		
実施団体名	ペアレント・サポートすてっぷ		
市担当課名	倉敷市総合療育相談センターゆめばる		
総事業費	1,021,500 円	市の負担額	390,000 円
<p>①事業の概要 *事業の全体像を簡潔に記入してください。</p> <p>障がい児の保護者が子育てする上で生じる不安・負担感を軽減するために、障がい児の子育てに必要な様々な情報を集め、わかりやすい形でまとめたものを作成し販売することとした。初年度である25年度に冊子「ひとりじゃないよ」が完成したため、次年度である26年度は、販売に力を入れると同時にハンドブック作成によって作られたネットワークを活用しての交流活動も展開し、更に年度の終盤には第2号の作成にも着手する。</p>			
<p>②事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冊子完売について これについてはまだ在庫を残しているため目標達成はしていない。(ただし、在庫は第2号発売時に第1号未購入者が購入すると予想されるため、あったほうがむしろ良い) ・講演会集客数、団体への講演依頼等 <ul style="list-style-type: none"> ①【講演会】6月21日鳥取大学 井上雅彦先生を招いての保護者支援講演会「障がいのある子どもの家族への支援～親ときょうだいへの支援を考える～」参加者数234名 2月7日講演会「“自分らしく生きる未来”へのSTEP」参加者数129名 ② 保護者支援に関する講演依頼 年間7回 ③ マスコミ取材2月KSBスーパーJチャンネルにて10分間の特集、山陽新聞の発達障がい関係の連載で活動が紹介された④保護者支援活動「うさぎ茶屋」へのレポート参加も多く一定の満足度が伺える ⑤ 一般書店でのハンドブックの取り扱い開始(現在、倉敷市内2店舗、総社市1店舗) ⑥冊子販売のペースも、秋ごろいったん落ち込んだが、12月ごろからPRを積極的に行った結果、マスコミ効果もあり、盛り返すことができた 			
<p>*事業の成果を自己評価すると何点になりますか。計画通りであれば100点とします。</p> <p>なお、想定を大きく上回る成果を得ている場合は100点を超える点数を記入してください。</p>			
			95
			点

③事業の課題 *事業を実施する中で浮上してきた課題を記入してください。

・保護者支援活動「うさぎ茶屋」について…ハンドブック作成の目的は単に情報提供するにとどまらず、これを読んだ人たちと実際に交流し「つながる」ことを目指しており、そのひとつの機会が保護者支援活動「うさぎ茶屋」への参加へつなげることであったが、「うさぎ茶屋」は、月によって参加者数の変動が大きく、一定しなかった。コンスタントな参加者確保のためには、より積極的なPRおよび実施内容の検討が必要とされる。

⑤事業実施記録 *実施した事業の詳細を記入してください。

実施日時	実施内容	実施場所	従事者の人数	受益対象者の 範囲及び人数
平成 26 年 4 月 ～平成 27 年 3 月	保護者支援（交流）活動「うさぎ茶屋」	市民活動センター 第 1・第 2 会議室	5 名/1 回	述べ 80 名
平成 26 年 6 月 21 日	鳥取大学 井上雅彦先生講演会 「障がいのある子どもの家族への支援～ 親ときょうだいへの支援を考える～」	ライフパーク倉敷 大ホール	19 名	234 名
平成 26 年 2 月 7 日	川崎医療福祉大学 添田正揮先生・小田桐 早苗先生 対談リレー講演会「“自分らしく生きる未 来” へのSTEP」	くらしき健康福祉 プラザ 5 階大ホー ル	14 名	129 名
平成 26 年 4 月 ～平成 27 年 3 月	ハンドブック第 1 号発送準備 保護者支援活動準備 ハンドブック第 2 号作成作業	市民活動センター 会議室	6 名/1 回	月 12 日～14 日 述べ 800 名～ 1000 名

収支精算書

(収入の部)

(単位:円)

項目	予算額	収入済額	主な収入の内訳
受益者負担 (参加費, 受講料など)	16,800	181,500	6/21 講演会 234名 × 500円 = 117,000 2/7 講演会 129名 × 500円 = 64,500
寄付	5,700	0	
売上	500,000	450,000	900冊 × 500円
市補助金	500,000	390,000	
合計	1,022,500	1,021,500	

(支出の部)

(単位:円)

区分	項目	予算額	支出済額	主な支出の内訳
経費 (対象経費)	人件費(団体会員に支払うもの, 交通費を含む)			
	人件費(団体外部に支払うアルバイト代等)			
	謝金 (講師等に支払うもの)	329,000	300,000	うさぎ茶屋@5000 × 15名 井上先生 125,000 添田先生・小田桐先生各 50,000
	旅費交通費 (講師等に支払うもの)	50,000	30,000	井上先生交通費
	消耗品費	102,700	77,970	うさぎ茶屋材料, インク代他
	印刷製本費	397,000	353,484	チラシポスター代, 製本代, リーフレット
	通信運搬費	114,600	7,544	メール便 郵便切手
	講師弁当代	2,200	0	
	使用料, 賃借料	10,000	0	
	委託料	32,000	0	
	宣伝活動費	13,000	0	
	小計	950,500	768,998	
経費 (対象外経費)	報償費・人件費			
	食糧費	72,000	131,788	講演会食事 44,339 お茶代 25,772 その他
	その他		120,714	
	小計			
合計	1,022,500	1,021,500		